

当面のスローガン

- 差別事件の糾弾闘争を強化
- 全学校で人権・同和教育を!
- 全自治体で同和行政を!
- 来年の西日本夏期講座の成功



解放新聞社山口支局

〒753-0074 山口市中央1-5-3
 TEL 083-923-2303
 FAX 083-921-1919
 ホームページ <http://y-kaihou.jp>
 編集発行人 松岡 広昭

県同教大会

教師こそ最大の教育条件 再度、同和教育をやり直す必要が

第24回山口県人権・同和教育研究会が、8月11日(月)柳井市の「アクティブやない」において開催され、県同教会員・行政・企業・学校関係者・運動団体など100名が参加し、同和教育実践を交流し、熱い討議と学習を深めた。

開会行事では高林公男山口県同教委員長が主催者を代表してあいさつ。高林副委員長は、県内の人権教育の現状に対して「同和教育が溶解している」と強く指摘し「特措法後に県内で統廃する差別事件が、同対審答申

以前の状態に逆行している」「再度、同和教育をやる必要がある」と訴えた。続いて、解放同盟山口県連の松岡広昭委員長、香渡清則・広同教事務局長から

激励のメッセージが送られた。開会行事のあと、「キャリア教育と人権教育」と題して、全国同和教育研究協

議会副委員長の栗原成壽さんの記念講演がおこなわれた。(詳細2面)

午後からは学校教育・社会教育の2つの分科会に分かれ、レポート報告、協議がされた。

学校教育分科会では、宇部市立藤山小学校の廣井知浩さん



県内各地から同和教育に取り組む多くの人が参加した



学校教育分科会で実践報告する廣井さん

からは「ヒロシマ修学旅行の取り組み」の実践が報告された。宇部市立西岐波小学校の竹部優子さんから「『おにはそと』したいきもちほどんなきもち」と題した実践が報告された。社会教育分科会では、山口県人権啓発センターの川口泰司さんから「萩市結婚相談所事件について」が報告された。



今後の取組みについて報告する宇部市社協の中山事務局長 (写真右)

第3回確認会では、県連と宇部支部、宇部市社協からは中山事務局長をはじめ担当課長、宇部市の担当課などが出席し、今回の問題の課題整理と今後の取り組みについての基本方針を確認した。

宇部市社協は、今回の問題点について

①職員の人権意識が低かった。②申込書・相談カードが人権意識や同和問題に関する配慮が欠けていた。③指摘を受けるまで、カードを疑問に思わず10年間使用した。④人権研修の取り組みが不足していた。⑤結婚相談事業が相談員任せであった。

②社協の理事会、評議員会、各種委員会、

宇部市は今回の問題点と反省として、①職員の人権意識の高揚など、人権尊重に配慮する取り組みの必要であること、②多くの市民が利用し、誰も指摘がなかったことを踏まえ、

市の外郭団体や企業啓発、職場内人権研修の充実に取り組む必要がある。今回の方針を踏まえて、年度末に宇部市社協と実施報告会議をおこなう。

本来の基本理念に立ち返り 継続的な人権研修に取り組み

宇部市社協 第3回確認会

⑥重要文章の受付管理体制が不十分であった。これらが今回の問題を引き起こしたおもな要因として総括した。

各種相談業務の担当相談員、職員に対しての人権研修会を企画・実施する。

推進に努め、基本的人権の尊重とプライバシー保護に関わる職員としての自覚と資質の向上に一層努める」ことを確認。

たことを踏まえ、市民の人権意識の高揚に取り組む必要性。今後の対応について

宇部市社会福祉協議会(社協)の結婚相談事業の提出書類に、障害の有無、離婚理由、前住所など差別的な情報収集をしていた問題で、第3回確認会を6月25日に宇部市隣保館厚南会館でおこない、今回の問題の課題整理と今後の取り組みについて確認した。

今後、宇部市社協として、市や関係機関が実施している人権研修に出席し、宇部市社協でも、積極的かつ継続的な人権研修を行っていくことを確認した。

また、結婚相談事業については「市社協本来の基本理念の原点に立ち返り、人権に関する認識を改めると共に、最善の注意を払い同和問題、結婚差別問題を念頭に置きながら事業の

宇部市の課題と今後の取組み

宇部市は今回の問題点と反省として、①職員の人権意識の高揚など、人権尊重に配慮する取り組みの必要であること、②多くの市民が利用し、誰も指摘がなかったことを踏まえ、